

【参考1】

非常災害対策計画の策定例

※ 平成28年9月9日付けの厚生労働省の通知で示された非常災害計画に最低限盛り込む項目を中心に記載しています。

各施設の状況や地域の実情を踏まえ、非常災害対策として必要な項目を追加し策定してください。

施設名			
所在地			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス（代表）			

1 施設の立地条件

(1) 施設立地場所の地形等

(2) 災害危険区域等の該当の有無

災害危険区域等	該当の有無	区域等の名称
浸水想定区域		
土砂災害警戒区域		
土砂災害特別警戒区域		
土石流危険渓流		
急傾斜地崩壊危険箇所		
地すべり危険箇所		

(3) 予測される災害の危険性

2 災害に関する情報の入手方法

(1) 市町村から発令される避難情報の入手方法

(2) 災害に関する情報の入手方法

3 災害時の連絡先及び通信手段の確認

(1) 自治体等の連絡先

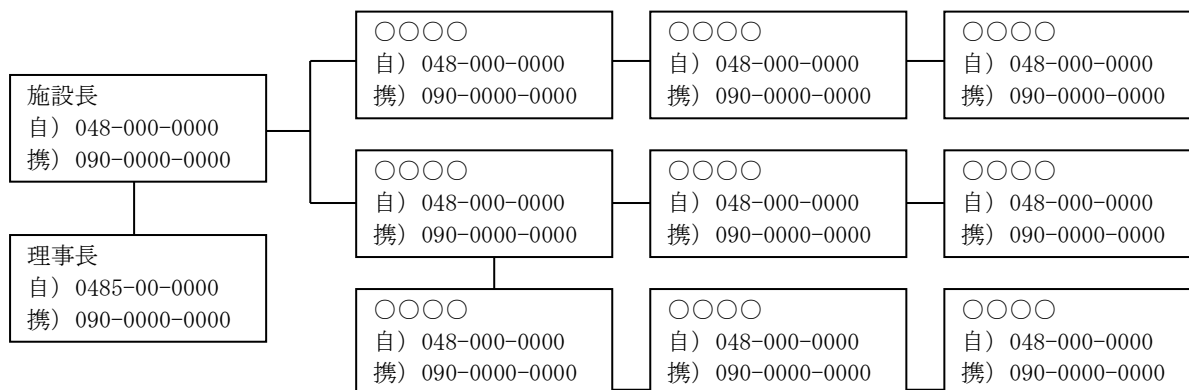
区分	機関名	電話番号	FAX番号	メールアドレス
行政機関	消防	〇〇消防署		
	警察	〇〇警察署		
	市(町村)	〇〇市役所(福祉担当課)		
	県	埼玉県福祉部〇〇課 埼玉県〇〇福祉事務所		
ライフライン	電気	〇〇電力〇〇営業所		
	ガス	〇〇ガス〇〇営業所		
	水道	〇〇市水道局		
	電話	NTT東日本〇〇支店		
協力機関	〇〇自治会	会長 〇〇さん		
	自主防災組織	〇〇さん		
	協力医療機関	〇〇病院		
	協力福祉施設	〇〇園		
取引先	給食関係	〇〇給食センター		
	設備関係	〇〇メンテナンス		

※あくまでも記載例ですので、各施設で検討の上作成してください。

(2) 職員の連絡先

役職名	氏名	住所	自宅電話	携帯電話	通勤時間
				携帯メール	
					徒歩 10分
					自転車 5分
					車 10分

緊急連絡網



※ 職員の連絡先及び緊急連絡網は個人情報ですので、日常の管理には十分注意してください。
また、更新頻度（最低1年に1回程度）も決めるようにしてください。

(3) 利用者情報（家族の連絡先）

利用者名	生年月日	内服薬	ADL 認知症	要介護度 障害程度区分	連絡者氏名 (続柄)	連絡先1 連絡先2	注意事項
〇〇〇〇	昭和 年 月 日	〇〇〇〇	Ⅲa	3	△△△△ (長女)	090-0000-0000 048-000-0000	

※ あくまでも記載例ですので、各施設の状況に応じて検討の上作成してください。

※ 利用者情報(家族の連絡先)は個人情報ですので、日常の管理には十分注意してください。
また、更新頻度（最低1年に1回程度）も決めるようにしてください。

4 避難を開始する時期、判断基準

(例) 避難準備情報が発令されたとき
土砂災害警戒情報が発表されたとき 等

5 避難場所

災害の種類	地震	水害	土砂災害	火災
避難場所				
所要時間				
距離				

6 避難経路

(1) 避難場所への避難経路

避難経路①

避難経路②

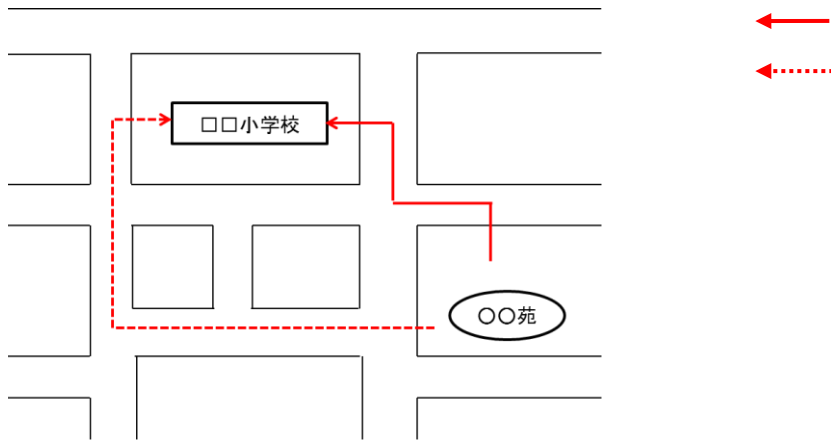
<留意事項>

避難経路①は、.....

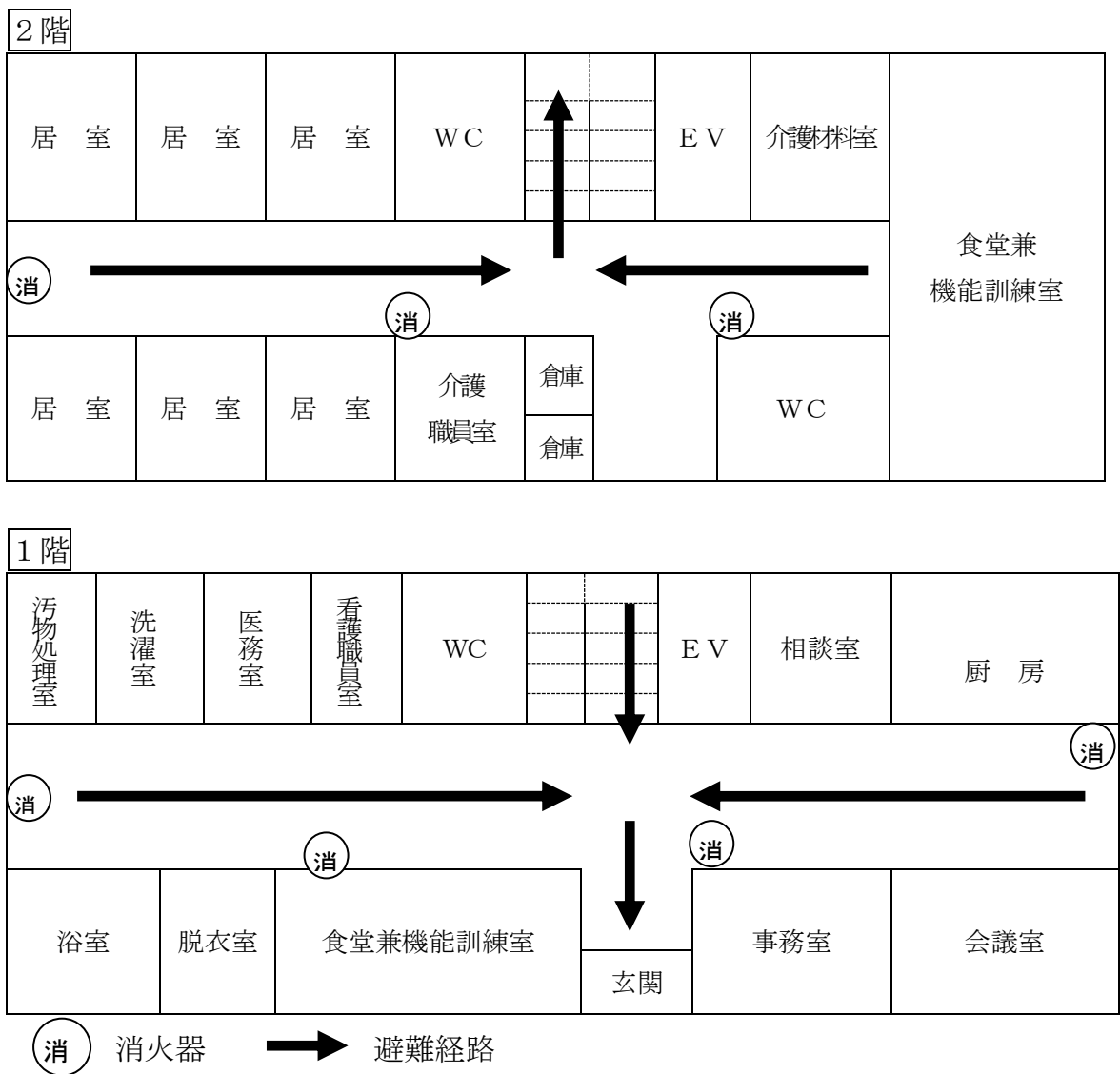
.....、
.....。

避難経路②は、.....

.....、
.....。



(2) 施設内の避難経路



7 避難方法

※利用者の状態ごとに避難するための方法を記載してください。

8 災害時の人員体制、指揮系統

(1) 災害時の参集方法

職員参集基準

参集体制	参集基準	対象職員
警戒参集体制	①地域に大雨、暴風、暴風雪、洪水警報が1以上発表されたとき ②施設所在市町村内で震度5弱の地震が発生したとき	・総括責任者及び情報収集・連絡班の班長は施設に出勤すること
非常参集体制	①地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要するとき ②地域に災害が発生し、その規模及び範囲等から早急な対策を要するとき ③施設所在市町村内で震度5強以上の地震が発生したとき ④その他、総括責任者が必要と認めるとき	・総括責任者及び各班の班長は施設に出勤すること ・その他の職員は、家族等の安全が確保され次第出勤すること

※あくまでも記載例ですので、各施設の状況に応じて検討の上作成してください。

(2) 役割分担

- ・総括責任者 ○○○○ (不在時の代行者 ××××)
- ・情報連絡班班長 ○○○○ (不在時の代行者 ●●●●)
- ・消火班班長 ◇◇◇◇ (不在時の代行者 ◆◆◆◆)
- ・救護班班長 △△△△ (不在時の代行者 ▲▲▲▲)
- ・避難誘導班班長 ▽▽▽▽ (不在時の代行者 ▼▼▼▼)
- ・応急物資班班長 □□□□ (不在時の代行者 ■■■■)
- ・地域班班長 ☆☆☆☆ (不在時の代行者 ★★★★★)

役割分担表

総括責任者	班	班長	班員	任務
○○○○	情報連絡班	○○○○	●●●● ・ ・ ・ ・ ・	・気象や災害の情報収集 ・職員への連絡、職員や職員家族の安否確認 ・関係機関との連絡調整 ・利用者家族への連絡 ・避難状況の取りまとめ
	消火班	◇◇◇◇	◆◆◆◆ ・ ・	・火元の点検、ガス漏れの有無を確認 ・発火の防止と発火の際の初期消火
	救護班	△△△△	▲▲▲▲ ・ ・	・負傷者の救出及び安全な場所への移動 ・応急手当及び病院などへの移送
	避難誘導班	▽▽▽▽	▼▼▼▼ ・ ・	・利用者の安全確認 ・施設、設備の被害状況確認

			<ul style="list-style-type: none"> •••• •••• •••• 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への状況説明 ・利用者の避難誘導 ・利用者の家族への引渡し
	応急物資班	□□□□	<ul style="list-style-type: none"> ■ ■ ■ ■ •••• 	<ul style="list-style-type: none"> ・食料、飲料水などの確保 ・炊き出し、飲料水の供給
	地域班	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> ★ ★ ★ ★ •••• •••• 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、ボランティア団体及び近隣の社会福祉施設等への救援要請と活動内容の調整

※あくまでも記載例ですので、各施設で検討の上作成してください。

(3) 避難に必要な職員数

9 関係機関との連携体制

10 食料、防災資機材等の備蓄

備蓄品リスト

分類	品名	数量	積算根拠	保管場所
食料等	米			
	非常食			
	鍋			
	茶碗			
	カセットコンロ			
	ポリ容器等（生活用水）			
医薬品等	医薬品			
	衛生器具（血圧計、体温計等）			
	衛生材料（おむつ等）			
情報機器	ラジオ			
	メガホン			
	携帯電話（充電器を含む）			
	無線機			
照明	懐中電灯			
	ローソク（ローソク台を含む）			
	携帯用発電機			

	電池			
暖房資機材	石油ストーブ			
	灯油			
	携帯カイロ			
	防災用マッチ			
	新聞紙			
移送用具	車いす			
	乳母車			
	リアカー			
	おんぶ紐			
	担架			
作業機材	スコップ			
	合板			
	のこぎり			
	釘・金槌			
	軍手			
	長靴			
避難用具	地図			
	テント			
	ビニールシート			
	毛布			
	ゴザ			
	ヘルメット			
	搬送用ゴムボート			
	ロープ			
	タオル			
	ビニール袋			
	下着			
	簡易トイレ			

※ 上記品目はあくまで例示ですので、各施設等で必要に応じた備蓄品リストを作成してください。

【参考2】

避難訓練の実施例

1 実施回数

年 回（うち夜間又は夜間を想定した避難訓練 年 回）

2 避難訓練の参加者

常勤職員（夜間従事者含む）、非常勤職員（夜間従事者含む）、利用者

3 想定する災害の種類

火災、地震、水害、土砂災害

4 避難場所

- (1) 火災発生時 ○○公園
- (2) 地震発生時 ○○小学校
- (3) 水害発生時 ○○市民会館
- (4) 土砂災害発生時 ○○公民館

5 避難場所までの避難目標時間

- (1) 火災の場合 ○○分
- (2) 地震の場合 ○○分
- (3) 水害の場合 ○○分
- (4) 土砂災害の場合 ○○分

※ 小規模社会福祉施設の火災発生時の避難目標時間については、全国消防長会作成の「避難目標時間の設定」を参考にしてください。

http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2203/pdf/220313_yo130.pdf

6 避難訓練の内容

- (1) 避難目標時間内に迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (2) 防災マップ及び施設内の避難経路のとおり迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (3) 災害時における役割分担表のとおり迅速な対応ができるかどうかの検証を行う。
- (4) 職員の少ない時間帯での対応を想定した訓練を実施し、迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (5) 消火器を使用した初期消火の訓練を行う。
- (6) 近隣住民が参加する避難訓練を実施する。